

外国人の浜茶屋利用に関する
需要動向調査

目次

I. 海水浴場における統計

1. 国内における海水浴場
2. 新潟県内における海水浴場
3. 新潟県内における海水浴客数
4. 浜茶屋の現状

II. 観光客の動向

1. 新潟県における観光利用状況
2. 国内における外国人観光客
3. 新潟県内における外国人観光客
4. 外国人観光客の動向

III. 観光客の取り込みについて

1. 需要外国人観光客インバウンドの課題と対策

IV. 浜茶屋の新たな事業展開

1. 飲食 + 物件情報を掛け合わせた海の家
2. 海水浴場にオープンしたコワーキングスペース

V. 総括

1. 国の方針
2. 具体的な施策案

I 海水浴場における統計

1. 国内における海水浴場

国内における海水浴場数は 404 件（Waiker+ 2016 年調べ）となっており、2016 年における海水浴場の上位 10 先は下記の通りである。

<全国のビーチ・海水浴場人気ランキング>

スポット詳細	所在地	営業期間	特徴	周辺の宿検索
1 水晶浜海水浴場	福井県三方郡美浜町	7月上旬～8月下旬	湖 砂浜 岩場 wc トイレ P 駐車場 快水浴場百選	宿を探す
2 守谷海水浴場	千葉県勝浦市	7月16日～8月21日	砂浜 岩場 wc トイレ P 駐車場	宿を探す
3 城崎海水浴場	千葉県鴨川市	7月16日～8月21日	砂浜 岩場 wc トイレ P 駐車場	宿を探す
4 白良浜海水浴場	和歌山県西牟婁郡白浜町	5月3日～9月11日(予定)	湖 砂浜 岩場 wc トイレ P 駐車場 快水浴場百選	宿を探す
5 白浜中央海水浴場	静岡県下田市	7月～8月	湖 砂浜 岩場 wc トイレ P 駐車場 快水浴場百選	宿を探す
6 若狭和田ビーチ	福井県大飯郡高浜町	7月上旬～8月中旬	湖 砂浜 岩場 wc トイレ P 駐車場 快水浴場百選	宿を探す
7 入田浜海水浴場	静岡県下田市	7月中旬～8月下旬	湖 砂浜 岩場 wc トイレ P 駐車場	宿を探す
8 おたるドリームビーチ	北海道小樽市	6月下旬～8月末	湖 砂浜 岩場 wc トイレ P 駐車場	宿を探す
9 御座白浜海水浴場	三重県志摩市	7月～8月	湖 砂浜 岩場 wc トイレ P 駐車場 快水浴場百選	宿を探す
10 御宿中央海水浴場	千葉県夷隅郡御宿町	7月中旬～8月31日	湖 砂浜 岩場 wc トイレ P 駐車場	宿を探す

(参照：じゃらんランキング 2016)

いずれも、太平洋側の地域がトップ 10 を占めている中、日本海側からは、福井県が 2 先ランクインしている。

北陸新幹線の開業に伴い、関東圏から北陸地方へのアクセスが容易になったことをはじめ、日本の水泳場 88 選にも選ばれていること、また、砂質・清掃徹底や夕日などのロケーションも人気の要因となっている。

この水晶浜海水浴場には 6 軒（2016 年 7 月時点）の海の家が存在している。

2. 新潟県内における海水浴場

新潟県では 64 先の海水浴場が存在し、下越エリアで 26 先、中越エリアで 21 先、上越エリアで 10 先、佐渡エリアで 7 先の海水浴場を有している。

新潟県内における海水浴場では、過去 4 年にわたって、『上越市たにはま』、『柏崎市石地』、『新潟市関谷浜』が上位を独占している。

<新潟県 海水浴場入込客数>

海水浴場入込客数上位10ヵ所				
	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度
1	たにはま(上越市)	関屋浜(新潟市)	たにはま(上越市)	たにはま(上越市)
2	石地(柏崎市)	たにはま(上越市)	関屋浜(新潟市)	石地(柏崎市)
3	関屋浜(新潟市)	石地(柏崎市)	なおえつ(上越市)	なおえつ(上越市)
4	東の輪(柏崎市)	なおえつ(上越市)	石地(柏崎市)	鯨波(柏崎市)
5	鯨波(柏崎市)	鯨波(柏崎市)	鯨波(柏崎市)	関屋浜(新潟市)
6	なおえつ(上越市)	東の輪(柏崎市)	瀬波(村上市)	東の輪(柏崎市)
7	瀬波(村上市)	瀬波(村上市)	東の輪(柏崎市)	瀬波(村上市)
8	能生(糸魚川市)	能生(糸魚川市)	能生(糸魚川市)	野積(長岡市)
9	藤塚浜(新発田市)	藤塚浜(新発田市)	藤塚浜(新発田市)	能生(糸魚川市)
10	中央(長岡市)	野積(長岡市)	野積(長岡市)	中央(長岡市)

(資料)新潟県交流企画課「平成26年新潟県観光入込客統計」「平成27年度海水浴客入込状況」

また、上位に位置している『上越市たにはま』は 235,760 人、『柏崎市石地』は 230,380 人、『新潟市関谷浜』は 227,050 人といずれも 200,000 人以上を確保(2015 年新潟県調べ)している。

<上位3先の概要>

■たにはま海水浴場



- 浜茶屋：8 軒
- 北陸自動車道「名立谷浜 IC」より車で 10 分

■石地海水浴場



●浜茶屋：14軒

●北陸自動車道「西山IC」より車で20分

■関谷浜海水浴場



●浜茶屋：19軒

●北陸自動車道「新潟西IC」又は磐越自動車道「新潟中央IC」より車で20分

(参照：にいがた観光ナビ)

なお、新発田市藤塚浜においても、3年連続でトップ10入りとなっている。

■新発田市藤塚浜



●浜茶屋：7軒

●日本海東北自動車道「聖籠新発田IC」より国道113号経由 約11km 車で約10分

(参照：にいがた観光ナビ)

これらの要因として、①高速道路 IC より 20 分圏内であること、②県内に限らず県外からの顧客が来訪しやすい立地であることが挙げられる。

3. 新潟県内における海水浴客数

新潟県内における海水浴客数は、平成 19 年度以降、毎年 300 人を下回る状況が継続している。

平成 27 年における海水浴客は前年度と比較するとシーズン当初から天候に恵まれた日が続き、総数で 2,456 千人、県内客は 1,028 千人（シェア：41%）、県外客は 1,427 人（シェア：58%）となっている。

<平成 27 年における海水浴客 入込総数>

平成27年度海水浴客入込状況(市町村・海水浴場別)

海水浴場数 64箇所

(単位:人、%)

地域	市町村 (箇所数)	海水浴場名	平成27年度			平成26年度 総数	対前年度比		
			総数	県内	県外		総数	県内	県外
下 越 地 域	粟島浦村 (2)	内浦	4,550	2,120	2,430	4,490	1.3	11.0	△ 5.8
		釜谷	3,080	1,420	1,660	3,030	1.7	10.1	△ 4.6
		計	7,630	3,540	4,090	7,520	1.5	10.6	△ 5.3
	村上市 (9)	岩船	2,770	840	1,930	1,810	53.0	52.7	53.2
		瀬波	106,450	32,080	74,370	96,290	10.6	11.1	10.3
		岩ヶ崎	-	-	-	-	-	-	-
		野潟	-	-	-	-	-	-	-
		間島	-	-	-	-	-	-	-
		柏尾	3,320	2,070	1,250	2,640	25.8	111.2	△ 24.7
		鳥越山	-	-	-	-	-	-	-
		※笹川	9,310	2,840	6,470	8,570	8.6	5.2	10.2
		板貝	6,410	2,500	3,910	6,060	5.8	△ 15.3	25.7
		今川	1,980	580	1,400	1,570	26.1	9.4	34.6
		寒川	7,220	1,790	5,430	5,310	36.0	42.1	34.1
		碁石	4,390	1,550	2,840	3,150	39.4	68.5	27.4
	計	141,850	44,250	97,600	125,400	13.1	14.2	12.7	
	胎内市 (1)	村松浜	5,520	4,000	1,520	2,650	108.3	192.0	18.8
		新発田市 (1)	藤塚浜	50,260	28,580	21,680	72,310	△ 30.5	△ 35.5
	聖籠町 (2)	網代浜	9,360	9,360	0	7,920	18.2	18.2	-
		次第浜	1,730	1,730	0	1,130	53.1	53.1	-
計	11,090	11,090	0	9,050	22.5	22.5	-		
新潟市 (11)	内野浜	3,080	2,480	600	1,940	58.8	60.0	53.8	
	青山海岸	40,770	29,690	11,080	26,560	53.5	46.3	76.7	
	関屋浜	227,050	191,830	35,220	255,010	△ 11.0	△ 8.5	△ 22.5	
	日和山浜	30,440	23,200	7,240	28,160	8.1	20.8	△ 19.2	
	山の下船江町浜	37,170	33,390	3,780	35,130	5.8	7.6	△ 7.6	
	島見浜	21,240	18,580	2,660	16,500	28.7	34.2	0.0	
	※間瀬	33,160	16,800	16,360	10,310	221.6	219.4	224.0	
	角田浜	93,490	41,710	51,780	54,990	70.0	58.1	81.0	
	四ツ郷屋	-	-	-	-	-	-	-	
	浦浜	5,400	4,110	1,290	2,250	140.0	130.9	174.5	
	越前浜	22,660	14,060	8,600	15,340	47.7	78.7	15.1	
計	514,460	375,850	138,610	446,190	15.3	11.6	26.7		
下越地域 計		730,810	467,310	263,500	663,120	10.2	7.8	14.8	

中越地域	長岡市 (5)	落水	10,770	5,220	5,550	9,000	19.7	25.2	14.9
		中央	73,600	19,280	54,320	64,200	14.6	76.2	2.0
		野積	73,390	20,460	52,930	69,000	6.4	28.1	△ 0.2
		金山	19,400	4,280	15,120	17,450	11.2	40.3	5.0
		郷本	26,690	14,030	12,660	21,820	22.3	16.0	30.2
	計	203,850	63,270	140,580	181,470	12.3	36.9	3.9	
	出雲崎町 (1)	井鼻	25,000	13,290	11,710	24,600	1.6	3.0	0.1
	柏崎市 (15)	※笠島	70,210	29,490	40,720	59,770	17.5	17.4	17.5
		※鯨波	189,640	79,650	109,990	138,170	37.3	37.2	37.3
		※番神・東の輪	203,380	85,440	117,940	152,050	33.8	33.8	33.7
		※中央・高浜	43,120	18,120	25,000	31,990	34.8	34.9	34.7
		長浜	24,320	11,250	13,070	17,190	41.5	59.6	28.9
		大崎	40,010	23,370	16,640	43,050	△ 7.1	8.3	△ 22.5
		石地	230,380	136,100	94,280	170,200	35.4	59.7	10.9
	計	801,060	383,420	417,640	612,420	30.8	39.8	23.5	
中越地域 計		1,029,910	459,980	569,930	818,490	25.8	38.0	17.5	

地域	市町村 (箇所数)	海水浴場名	平成27年度			平成26年度	対前年度比		
			総数	県内	県外	総数	総数	県内	県外
上越地域	上越市 (4)	たにはま	235,760	23,380	212,380	178,560	32.0	43.3	30.9
		なおえつ	184,060	29,050	155,010	140,870	30.7	62.4	26.0
		中央	19,310	5,280	14,030	7,870	145.4	438.8	103.6
		鶴の浜	70,550	5,650	64,900	52,930	33.3	54.4	31.7
		計	509,680	63,360	446,320	380,230	34.0	63.1	30.7
	糸魚川市 (6)	糸魚川	7,420	970	6,450	3,840	93.2	54.0	100.9
		大和川	5,280	940	4,340	2,730	93.4	347.6	72.2
		能生	97,640	16,900	80,740	77,710	25.6	38.5	23.2
		藤崎	15,510	1,550	13,960	11,600	33.7	416.7	23.5
		百川	4,030	180	3,850	3,280	22.9	125.0	20.3
		親不知	16,050	530	15,520	12,140	32.2	△ 17.2	35.0
		市振	-	-	-	-	-	-	-
	計	145,930	21,070	124,860	111,300	31.1	49.9	28.4	
	上越地域 計		655,610	84,430	571,180	491,530	33.4	59.6	30.2
佐渡地区	佐渡市 (7)	二ツ亀	5,180	1,840	3,340	6,260	△ 17.3	△ 26.1	△ 11.4
		赤亀・風鳥なぎさ公園	3,500	1,110	2,390	3,490	0.3	△ 3.5	2.1
		達者	7,550	2,310	5,240	5,330	41.7	54.0	36.8
		入崎	2,480	590	1,890	1,620	53.1	1.7	81.7
		佐和田	7,870	4,580	3,290	3,960	98.7	75.5	143.7
		真野長石海岸	-	-	-	-	-	-	-
		素浜	6,920	2,610	4,310	2,990	131.4	110.5	146.3
		城が浜	6,440	3,990	2,450	4,590	40.3	36.2	47.6
佐渡地域 計		39,940	17,030	22,910	28,240	41.4	36.2	45.6	
合 計		2,456,270	1,028,750	1,427,520	2,001,380	22.7	23.6	22.1	

(参照：新潟県)

4. 浜茶屋の現状

近年の海の家は騒音問題、治安問題などで近隣住民と利用客との間でトラブルが生じている。

海の家も多様化しており、ライブ会場やダンスホールとしての新たな活用がされている中、最近の海の家は「クラブ化」し、タトゥーを入れた若者やアルコールを摂取した者がた

むしろ、ファミリー層から嫌煙される事態を招いている。特に人口の多い海水浴場では、クラブ系やレゲエ系などの音楽イベントも行われ、騒音による周辺住民とのトラブルも起き、夏の海の家は新たな社会問題になりつつある。

石川県内灘町の海水浴場では、浜茶屋の「夜間営業」をめぐり、市民団体メンバーが営業許可の取り消しを求める告発状を県へと提出する事案が生じている。

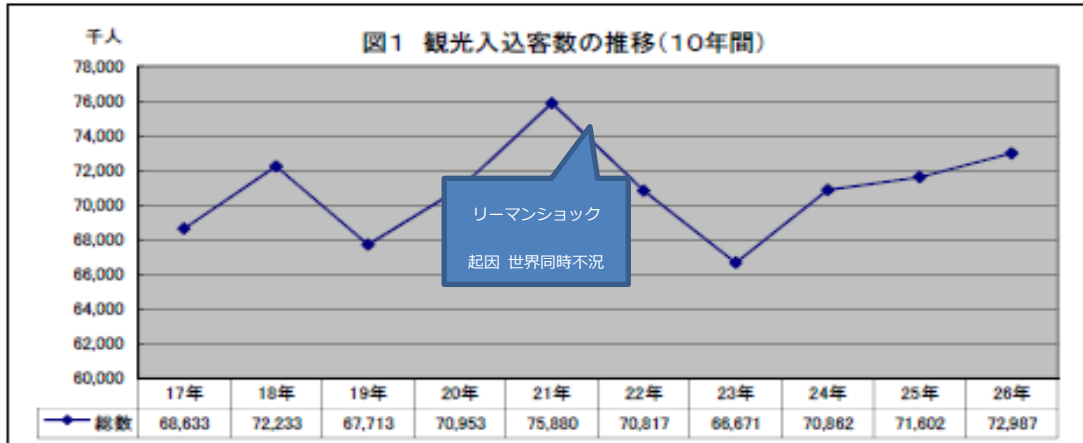
内灘海水浴場では、夜間に、飲酒した客同士のケンカや騒音などが問題となるため、浜茶屋の営業時間を午後6時までとしているものの、実際にはそれ以降も営業をしているとして、営業許可の取り消しを求める告発状を提出する事案へと発展している。

海水浴場に來られた方に安心して楽しめるサービスを提供する場所が「海の家」の基本理念と思われるが、近年ではその基本理念が崩れつつある。

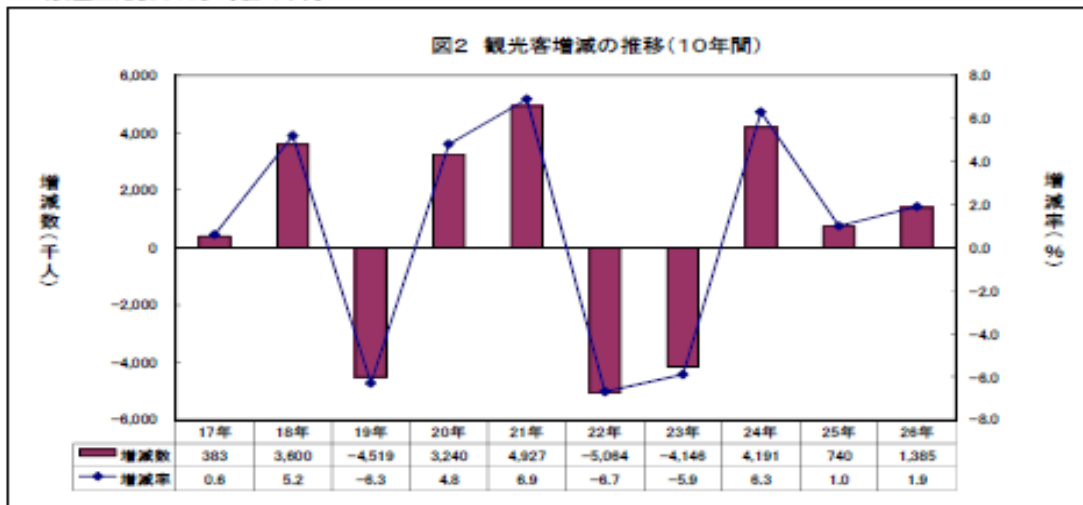
Ⅱ 観光客の動向

1. 新潟県における観光利用状況

平成21年以降、減少傾向にあったものの、新潟デスティネーションキャンペーン等により平成24年からは、県内における観光入込客数は増加傾向にある。



※ 平成22年3月以前と22年4月以降は統計基準が異なるため、統計上正確な比較ではありません(便宜上比較した参考値です)。



(参照：新潟県産業労働観光部観光局交流企画課)

地域別では、下越エリアでは、新規オープン of 観光施設、中越エリアでは長岡まつりへの来場者数が増加したことが起因している。反面として、上越エリアでは、海水浴客の減少からマイナスに作用する結果となっている。

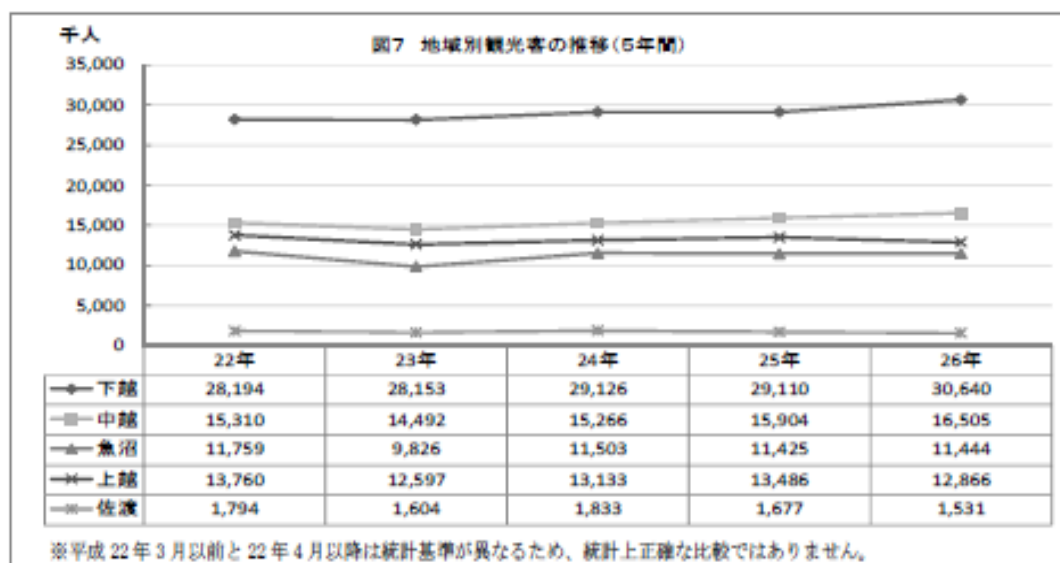
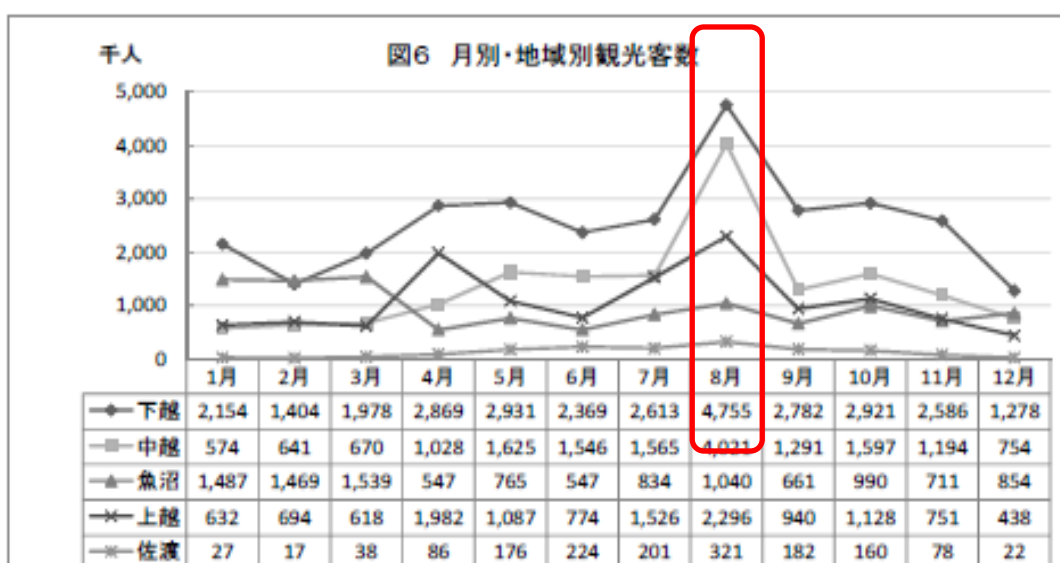
併せて、全エリアを通じて、日本海を有しているため、海水浴利用を目的とした8月における観光客数が年間におけるピーク時期となっている。

<新潟県内における観光客数動態>

(単位:千人)

	H26	H25	前年差	対前年比	構成比	地点数
合計	72,987	71,602	+1,385	+1.9%	100.0%	1,004
下越	30,640	29,110	+1,530	+5.3%	42.0%	356
中越	16,505	15,904	+601	+3.8%	22.6%	240
魚沼	11,444	11,425	+19	+0.2%	15.7%	188
上越	12,866	13,486	△ 620	△ 4.6%	17.6%	170
佐渡	1,531	1,677	△ 146	△ 8.7%	2.1%	50

※ 繰越処理(四捨五入)を行っているため、合計と内訳が一致しない場合があります。(以下の表も同様)



(参照：新潟県産業労働観光部観光局交流企画課)

2. 国内における外国人観光客

政府が 2020 年の訪日外国人観光客数目標を 3000 万人へ引き上げている中、国内における訪日外国人の旅行者は、2003 年以降、年々増加しており、2015 年における訪日外国人旅行者数は 1,974 万人と前年比+633 万人となっている。

<訪日外国人の推移と想定シミュレーション>

訪日外国人観光客の推移とシミュレーション

西暦	訪日外客数	伸率
2012	8,358,105	
2013	10,363,904	24.0%
2014	13,413,600	29.4%
2015	15,425,640	15.0%
2016	17,739,486	15.0%
2017	20,400,409	15.0%
2018	23,460,470	15.0%
2019	26,979,541	15.0%
2020	31,026,472	15.0%

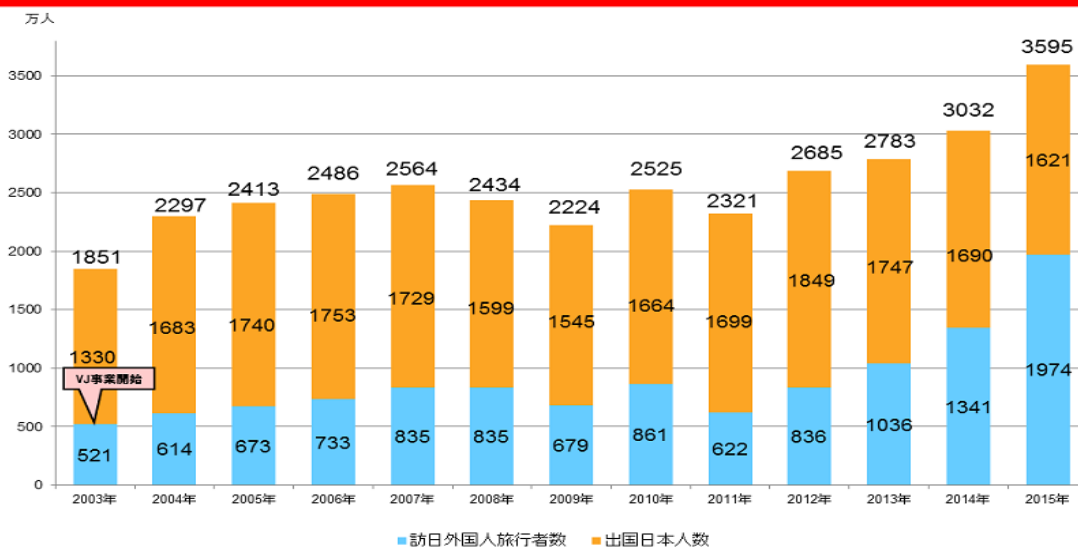
※2015年以降の青字は全て弊社によるシミュレーション数値となります。

2012～2014年訪日外客数
出典：日本政府観光局(JNTO)



<訪日外国人旅行者数・出国日本人数の推移>

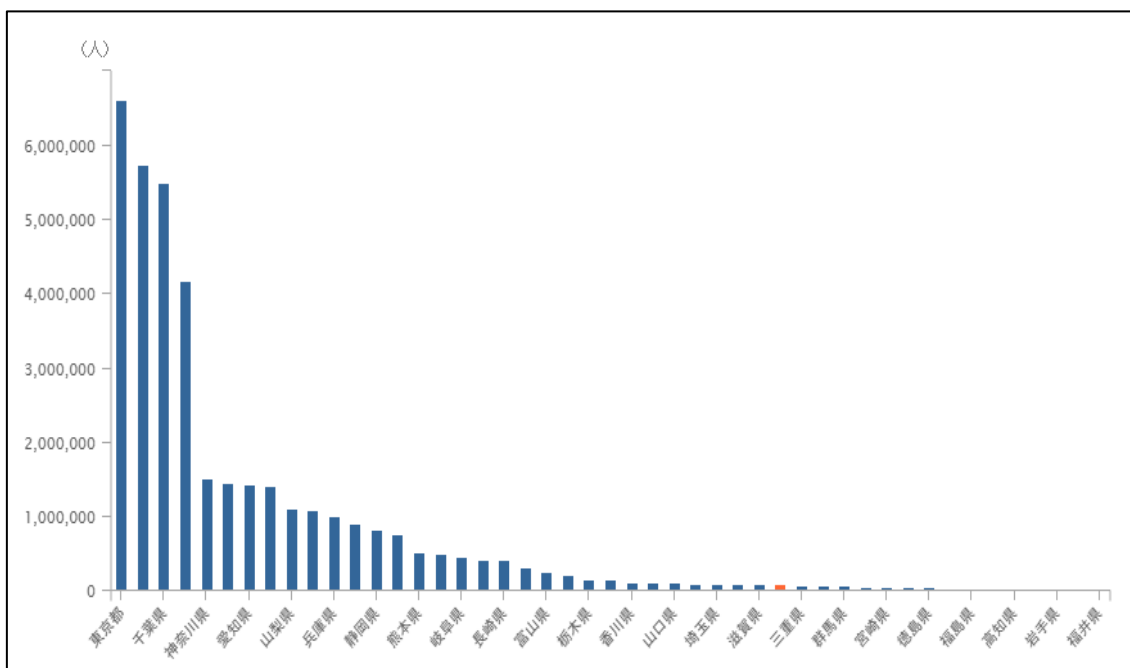
訪日外国人旅行者数・出国日本人数の推移



出典：日本政府観光局(JNTO)
2015年は推計値

(参照：国土交通省 観光庁)

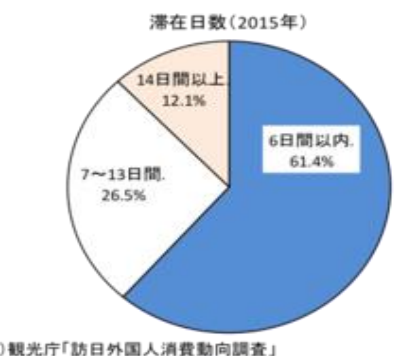
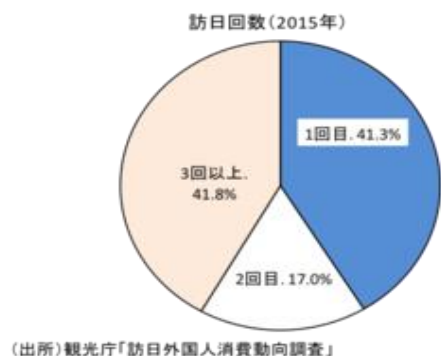
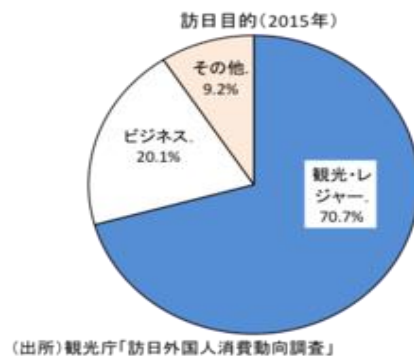
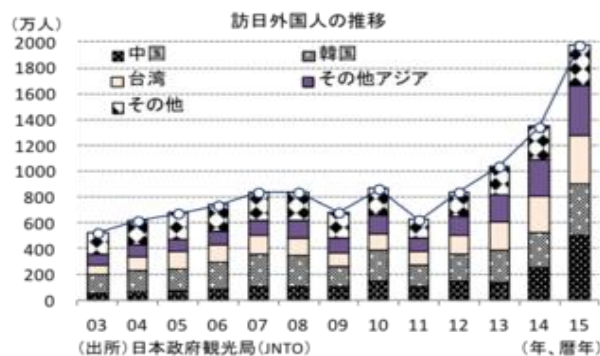
<都道府県別訪問者数（全国比・2015年）>



（観光庁「訪日外国人消費動向調査」、日本政府観光局「訪日外客数」）

また、訪日外国人の目的として、観光・レジャーに占める割合は約70%を占めており、6日間以内の滞在期間が約61%を占めている。

<訪日外国人の目的・回数・日数（2015年）>



3. 新潟県内における外国人観光客

平成 26 年新潟県調査における外国人宿泊数は、137,206 泊となっている。特に、韓国・台湾・中国を中心としたアジア地域からの宿泊が高いシェアとなっている。

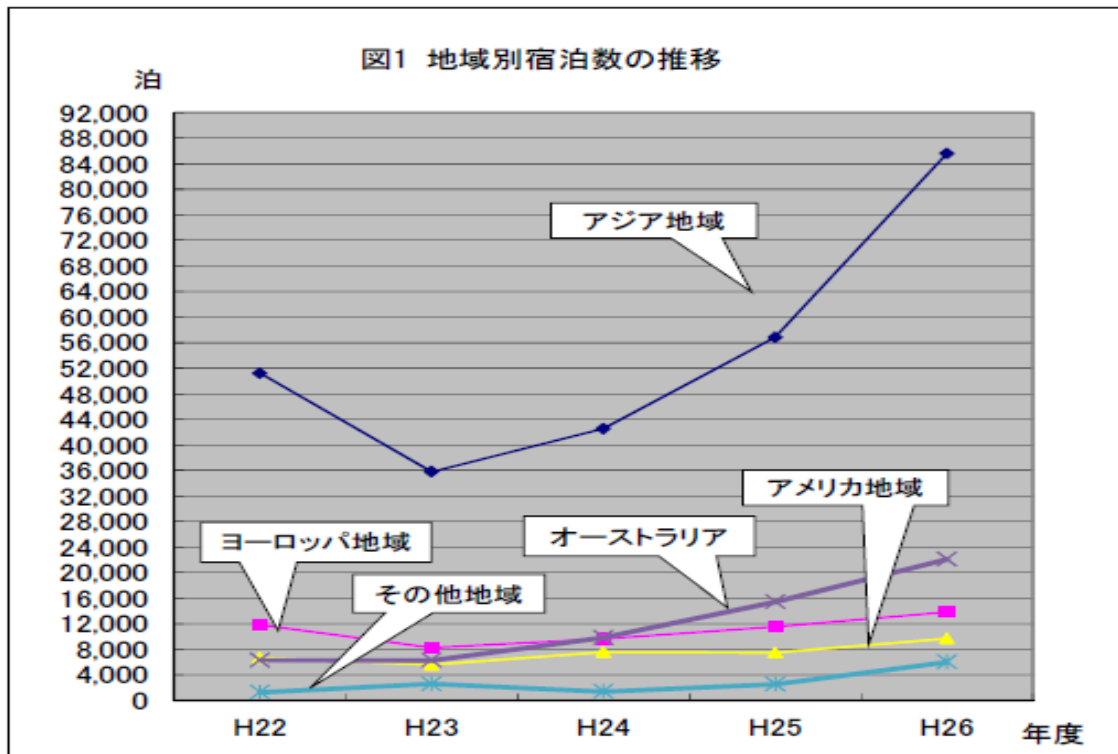
<国別 新潟県宿泊数>

【地域別の状況】	【誘客対象地域の状況】
アジア地域 85,609泊 (50.7%)	韓国 10,181泊 (4.5%)
ヨーロッパ地域 13,833泊 (20.2%)	台湾 33,373泊 (56.2%)
アメリカ地域 9,691泊 (29.6%)	中国 25,810泊 (59.3%)
オーストラリア 22,075泊 (43.2%)	(うち中国(香港除く)16,503泊 (74.3%))
その他地域 5,998泊 (137.1%)	(うち香港 9,307泊 (38.3%))
合計 137,206泊 (46.3%)	ロシア 3,331泊 (26.4%)
	オーストラリア 22,075泊 (43.2%)
	シンガポール 3,538泊 (81.4%)
	タイ 4,197泊 (114.9%)
	計 102,505泊 (48.0%)

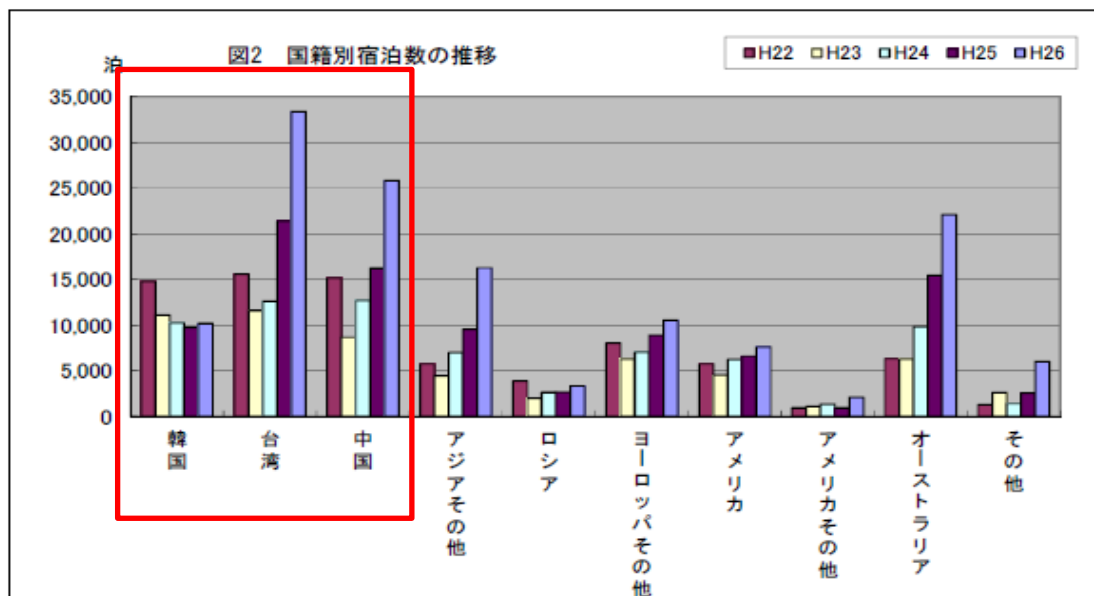
※ 県内宿泊施設抽出調査(回答 181 施設)、泊数は延べ宿泊数。観光、ビジネスなど目的は問わない。

(参照：新潟県)

<地域別宿泊数の推移>



<国籍別宿泊数の推移>



(参照：新潟県)

4. 外国人観光客の動向

先述の通り、新潟県における外国人観光客は、アジア圏からの来訪が多く、特に台湾・中国・オーストラリアからの来訪者が多くを占めている状況である。

<新潟県内における外国人客（国別）>

区分	H22	H23	H24	H25	H26	対前年度比
韓国	14,771	11,099	10,258	9,738	10,181	4.5%
台湾	15,550	11,572	12,589	21,367	33,373	56.2%
中国	15,162	8,670	12,709	16,200	25,810	59.3%
うち中国(香港除く)	9,683	6,486	8,549	9,470	16,503	74.3%
うち香港	5,479	2,184	4,160	6,730	9,307	38.3%
シンガポール	-	-	1,228	1,950	3,538	81.4%
タイ	-	-	1,703	1,953	4,197	114.9%
マレーシア	-	-	402	1,131	1,618	43.1%
インドネシア	-	-	483	879	1,779	102.4%
その他*	5,732	4,441	3,153	3,603	5,113	41.9%
小計	51,215	35,782	42,525	56,821	85,609	50.7%
ロシア	3,839	1,977	2,604	2,636	3,331	26.4%
イギリス	2,732	2,602	2,870	2,944	3,487	18.4%
フランス	898	427	606	871	836	-4.0%
ドイツ	878	761	892	1,098	1,169	6.5%
その他	3,497	2,479	2,674	3,959	5,010	26.5%
小計	11,844	8,246	9,646	11,508	13,833	20.2%
アメリカ	5,733	4,531	6,231	6,562	7,603	15.9%
カナダ	426	370	685	506	624	23.3%
ブラジル	60	45	122	74	524	608.1%
その他	426	654	530	337	940	178.9%
小計	6,645	5,600	7,568	7,479	9,691	29.6%
オーストラリア	6,284	6,265	9,825	15,419	22,075	43.2%
その他	1,272	2,592	1,387	2,530	5,998	137.1%
合計	77,260	58,485	70,951	93,757	137,206	46.3%
うち韓・台・中・露・豪・シ・タ 計	-	-	50,916	69,263	102,505	48.0%

※H22～H23の「アジアその他」は、シンガポール・タイ・マレーシア・インドネシアを含む。

(参照：新潟県)

特に、中国は、東シナ海・南シナ海に隣接していることから、海水浴場の整備・集客が行われているものの、漂流物（ゴミ）の放置や、海面状況が整っていない等、環境衛生面で嫌煙されている。



(参照：世界の憂鬱)

このような中国国内の状況から、日本への来訪と併せて、海水浴場が好まれるものと想定される。近年では『爆買い』等をはじめ、中国人観光客が来日するケースが増加しているため、中国人観光客をはじめとした層を中心にインバウンドで取り込んでいく方法が望ましいと思われる。

Ⅲ 観光客の取り込みについて

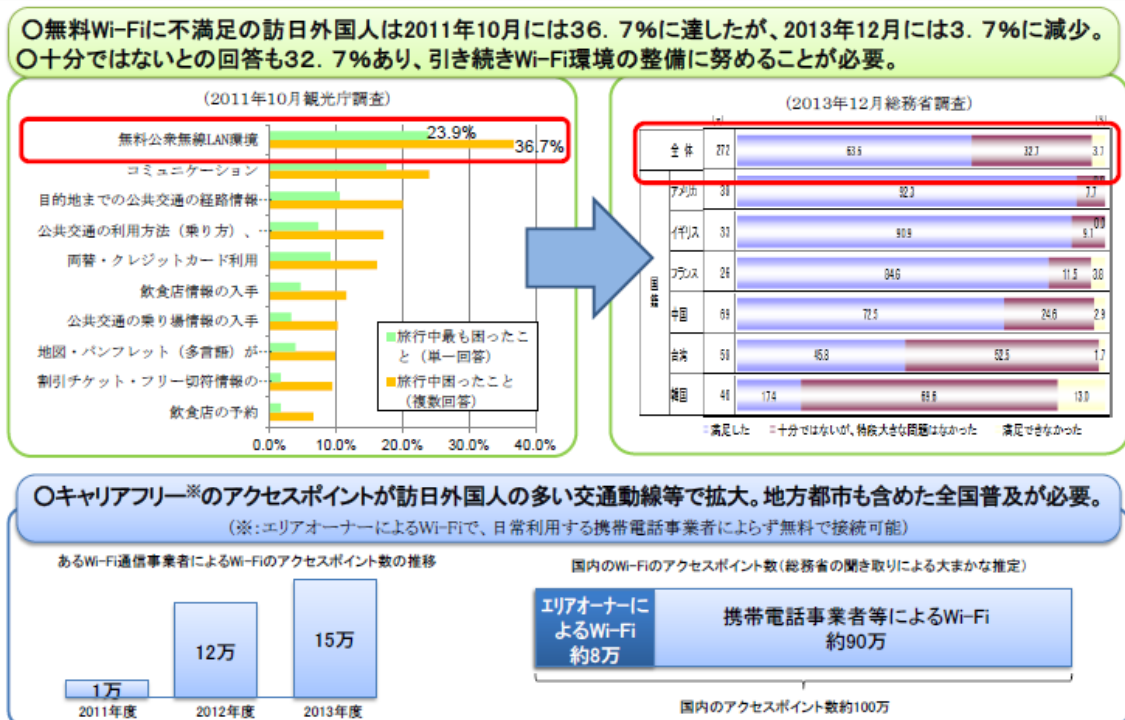
1. 外国人観光客インバウンドの課題と対策

A. 店舗や施設の受け入れ環境の整備

多言語メニュー、Free Wi-Fi、クレジットカード決済は外国人観光客を受け入れるにはほぼ必須となるものですが、現状、都市部でも受け入れ環境の整備が完璧だとは言えない状況である。

飲食店においてもメニューが多言語化されており、更に Free Wi-Fi やクレジットカード決済をきちんと整備出来ているお店はごく僅かである。

<Wi-Fi 整備についての現状>



(参照：総務省)

先述のように、国が目標として掲げている年間 3000 万人の外国人観光客が来日するようになれば、間違いなく地方都市にも分散していくと想定される。その際に問題となるのが外国人観光客の受け入れ環境の整備が都市部よりも遅れていることである。

日本の良さを体験し、メニューの内容を理解し、現金の残りを気にすることなく支払いしてもらい、更にはその体験をその場でシェアしてもらおうことの出来る環境が必要である。

特に、近年では、Facebook や Instagram 等、その場での情報発信によるシェアが定番化しているため、浜茶屋の各所に「Facebook」のロゴを設けることは必須であると思われる。

<県内 浜茶屋における Facebook 活用>



(参照：海の家 ちどり)

B.文化の違いによる対応

今後、更に多くの都市に外国人観光客が訪れることを想定した場合、語学力・コミュニケーション力を中心とした対応力が求められる。

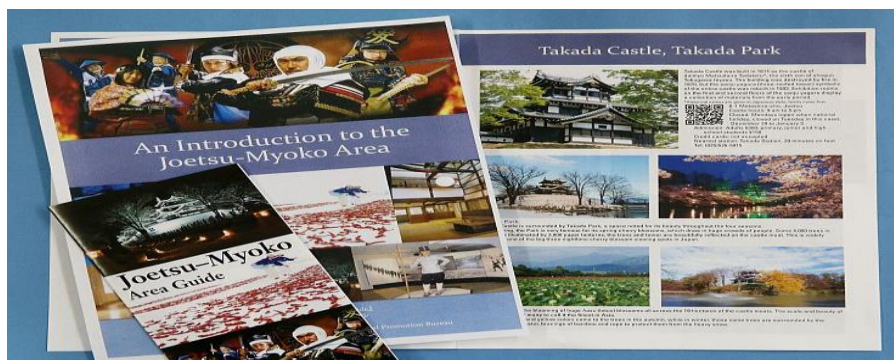
例として電車やバスなどの交通機関において緊急時などのアナウンスは現在外国語では行われておらず、関東圏で交通機関が一定時間ストップした場合でも、アナウンスされていない状況にある。

外国人観光客が増加するということは、その分外国人観光客がトラブルやアクシデントに遭遇する可能性が高まるということに繋がっている。

よって、PR や来訪時の外国人旅行者対応について、外国語表記の案内板を増設する等の語彙対応が必要であると思われる。

<県内 外国人観光客向け冊子>

■上越妙高エリア 観光案内リーフレット



(参照：北陸信越観光ナビ)

■上越 小川未明の功績 案内板



(参照：北陸信越観光ナビ)

C. 増加する外国人旅行者数への対応

先述のように新潟県内における外国人旅行者数の増加にある通り、今後地方都市を訪れる外国人観光客は更に増加する傾向にある。

年間 3000 万人の外国人が来訪する場合、都市部だけでなく、地方都市への来訪を促さない限り、都市部だけでは宿泊キャパシティが不足することとなる。

観光庁が 2015 年 6 月 9 日に公表した「観光白書」によれば、全国の宿泊施設の稼働率が軒並み上昇し、東京と大阪では 2014 年に稼働率が 81%を超えている。

主要因としては、外国人観光客が増えていることが主な原因である。稼働率が 80%を超えると、ホテルの予約が取れにくくなり、お盆シーズンや年末年始の予約ともなれば半年前に予約しなければ間に合わない状況で、部屋代もディスカウントが影を潜め、急激に「高騰」する状況となっている。

旅行を検討する外国人の方々に地方都市の情報、新潟県であれば、海水浴の魅力を伝える必要性は大きく、外国人旅行者のターゲット（国別・エリア別）を絞り、WEB の活用や地公体による情報発信を活用し、集客を行う必要がある。

そして通年での誘客を行う体制整備として、上記 A・B を踏まえた外国人観光客への対応策を講じる必要性は非常に重要である。

D.二次交通の課題

近年は、訪日外国人が地方都市への観光に流れている傾向が背景としてあるものの、地方都市部から地方部へのインバウンド地域でも頭を悩ませているのが二次交通の整備が課題となっている。

新潟においては、新潟市⇒新発田・紫雲寺へのアクセスをはじめ、紫雲寺内での交通等、電車、飛行機を利用して、遠方地からの来訪客に対し、快適に効率よく地域への観光を促す方法が求められている。

この方法として、近年注目を集めている交通手段はタクシーである。大型バスでは行けない観光地に行けるという利点を活かす場合、タクシーの小回りのよさが挙げられ、着地型旅行商品であるとともに、地域の魅力発信の一つの有効な手段となる。

事例として、鳥取県は、観光資源が豊富で、砂丘、温泉、果物など魅力が多い。さらに国際空港もあり米子ーソウル便、また韓国の東海市と境港を結ぶ DBS フェリーがある。観光資源と 2 つの直通インフラがインバウンドにとっても強みの鳥取。恵まれた環境にあるが、2 次交通という課題があった。

特に鳥取砂丘、城下町、グルメスポット、ナシ狩り園など、市内に点在しているため、移動に時間がかかることも課題であり、特に外国人にとっては、路線バスを乗継ぎできるのか

といった点で足枷が生じていた。

これを解決する策として、鳥取市の外国人観光客なら誰でも使える、3時間乗り放題の「1000円タクシー」を展開。この1,000円タクシーは、法定限度額の9,000円まで下げ、市が4,000円、県が4,000円を補助金として負担することで実現している。

また、並行して観光マイスター制度を導入し、観光情報のほか、どこの店に行けば何を買えるのか、細かい知識も必要とされるマイスター資格のない者は1000円タクシーのドライバーはできないこととした。

これにより、2013年は、鳥取県にとってインバウンドの最高記録となり、宿泊を伴う外国人観光客が過去最高の約3万7000人に達する結果を得ている。

機動力の確保という点において、公共交通機関にこだわらない方法での新たなインフラ整備が必要であると思われる。

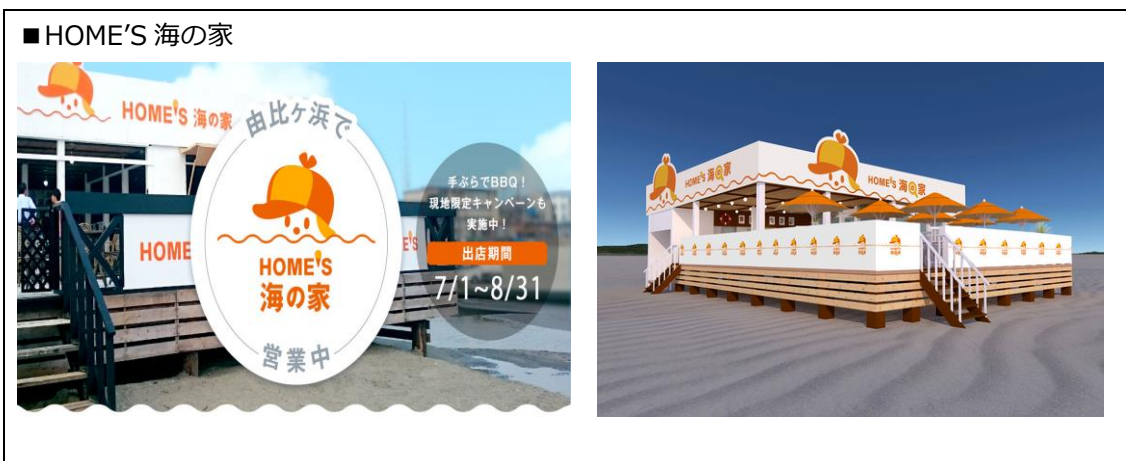
IV 浜茶屋の新たな事業展開

1. 飲食 + 物件情報を掛け合わせた海の家

総掲載物件数 No.1 の不動産・住宅情報サイト「HOME'S」を運営する株式会社ネクストが神奈川県鎌倉市の由比ヶ浜海水浴場にて海の家を本年にオープン。

飲食メニューを提供するだけでなく、20～30代の若年層をはじめ、海水浴へ来訪している外国人滞在者へのPRを兼ね、物件情報サイト「HOME'S」のサービスやキャンペーンなどを行い、利用促進を図るための期間限定窓口として展開を行っている。

<HOME'Sの運営する浜茶屋>



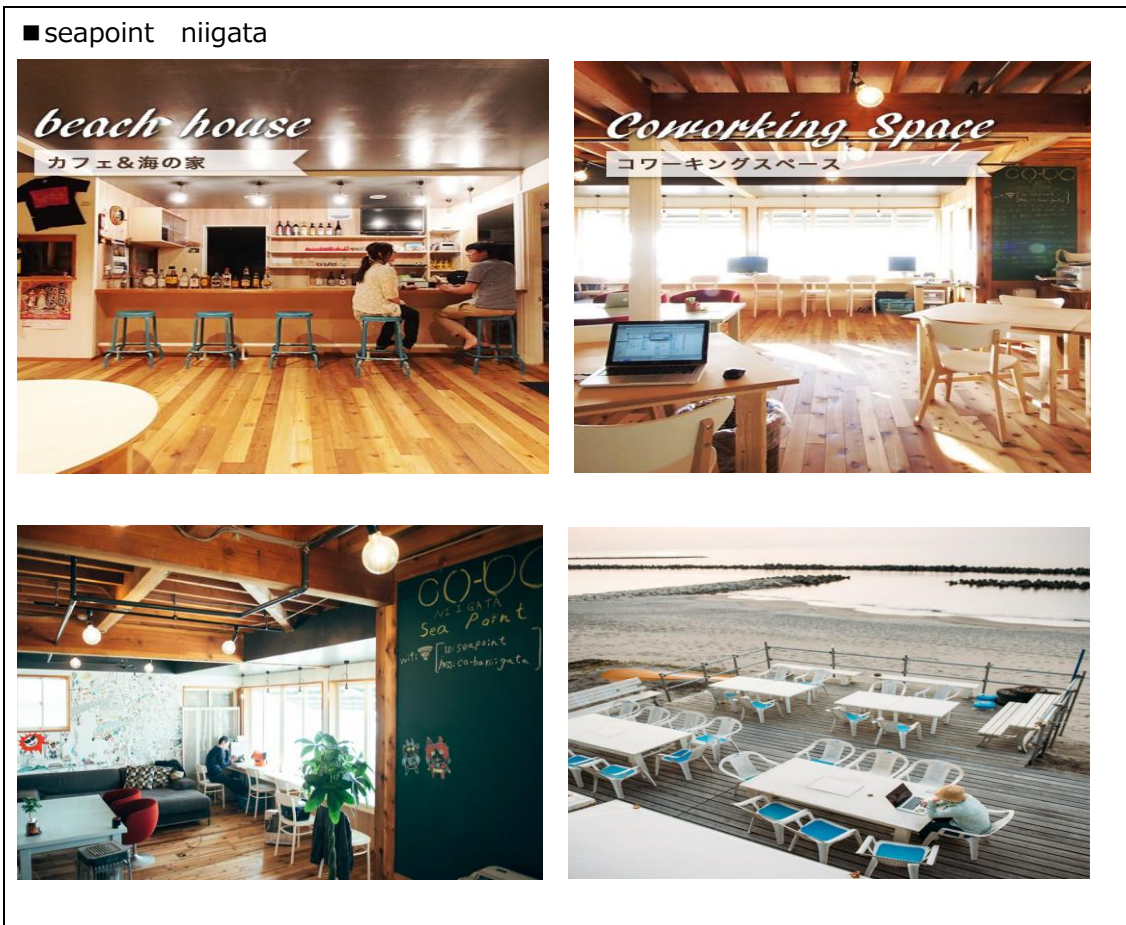
(参照：株式会社ネクスト)

このように、営業所で構えるスタイルは変えず、取り込みたいターゲットが集中する場所に『ハコ』自体を期間限定で出展し、見込み客を確保する方法は、恒常的なコストを抑えつつ、リード獲得を図れるという観点から、効果的であると思われる。

2. 海水浴場にオープンしたコワーキングスペース

「海の家」は、夏期シーズンが中心であるものの、夏期シーズン以外でも利用可能な「コワーキングスペース」として、シーズンオフのない多目的空間を展開している施設が新潟市中央区関屋に存在する。

<seapoint niigata>



(参照：『seapoint niigata』ホームページ)

ここでは、夏期以外でも、利用可能なスペースとして提供し、近隣住民からの利用をはじめ、同所では、都会の喧騒を離れたオフィスの提供として会議やオフィスの代わりとしても提供を行っている。

月額 10,000 円というリーズナブルな金額も相まって、起業家やフリーランスなど、多様な業界、職業からの利用が集まっている。そして、様々な職種から人が集う中、ビジネスマッチングの機会としても有効な場の提供となっている。

この『seapoint niigata』においても、自社ホームページをはじめ、先に述べた Facebook を活用した情報発信を行っており、認知～集客の体制構築を整備している。

V 総括

1. 国の方針

国土交通省管轄である観光庁としても、訪日外国人旅行者の急増により発生している課題を解決するため、「宿泊施設インバウンド対応支援事業」、「交通サービスインバウンド対応支援事業」、「地方での消費拡大に向けたインバウンド対応支援事業」を対象として、訪日外国人旅行者の受入環境整備を行うための緊急対策を促進することを目的とした事業補助金を展開している。

<訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金>

情報発信の強化に取り組む外国人観光案内所の支援(二次募集)



訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金
(地方での消費拡大に向けた環境整備事業(観光案内・地域情報発信))

訪日外国人旅行者にとって利用しやすい観光案内所の整備を促進するため、情報発信の強化を図るための経費等の一部について支援

1. 補助対象事業者 民間事業者、地方公共団体及び協議会等で、日本政府観光局が、**カテゴリⅡ以上の認定をした又は認定する見込みがある案内所**
(ただし、平成28年度のみ熊本県内に設置する案内所に限り、カテゴリⅠ以上を補助対象とする)
2. 補助率 国：1/3
3. 補助対象経費 ○案内標識、デジタルサイネージ、ホームページ等の多言語表記等に要する経費
○無料公衆無線LAN環境の整備に関する経費
○外国人観光案内所に要する経費(スタッフ研修費、タブレット、開設費用・改修費用等)(※)


案内標識、デジタルサイネージ、ホームページ等の多言語表記等



案内看板



ホームページ



案内地図



デジタルサイネージ

各種災害情報の発信



「各種交通機関の運行状況」
「医療機関情報」
「避難所情報」

無料公衆無線LAN環境の整備



外国人観光案内所に要する経費(※)



スタッフ研修費



タブレット

※「外国人観光案内所に要する経費(スタッフ研修費、タブレット、開設費用・改修費用等)」については、平成28年度中にカテゴリⅡ以上の認定をした又は認定する見込みがある案内所のみが対象となります。

(参照：国土交通省 観光庁 HP)

先述したように、2020年に向けて、訪日外国人旅行者数を増加させる目標を国の施策として示している中、増加している訪日外国人観光客への性急な対応に迫られている。

その中でも、外国語に対応した案内板の整備やWi-fi機器の導入促進を図る上でも、これらの補助金を活用した事業展開は必要であると思われる。

2. 具体的な施策案

紫雲寺地域においても、海水浴場を有している中、これらの外国人観光客を取り込む体制整備は必須であり、リピーターを獲得する上でも必要不可欠な要素となっている。

また、事例に挙げた『seapoint niigata』のように、夏期シーズンに留まらず、『開放的な空間演出』としての通年利用を意識した展開が必要であると思われる。

新潟県は、降雪地域であるため、冬期間の開放は難しいように思われるが、『seapoint niigata』では、降雪もひとつの魅力として捉え、冬期間も継続した運営を行っている。

さらには浜茶屋のみの利用にとどまらず、紫雲寺地域の特性上、外国人旅行者が訪日の際には、宿泊利用・飲食利用として地域各所を活用していただくべく、地域案内ツール等の外国語化（特に中国語・英語）は必須であり、現在、活用されている地域 PR 冊子『まるごと紫雲寺逸品図鑑』の外国語化は必須であると思われる。

併せて、宿泊施設への利用を促進する PR とともに、店舗内の各所に外国語表記を掲載する等の対応も必要となってくる。

長岡市においては、インバウンド（訪日観光客）の誘致拡大を目指し、市内の大学などに通う外国人留学生の意見を取り入れた誘客策を現在検討している。

平成 28 年 8 月下旬にはモニターツアーを開催し、留学生約 20 人が寺泊・与板地域を訪問、海の幸や歴史を堪能しながら、長岡の魅力や誘客に向けた課題などを探った。留学生の意見をマーケティングおよびターゲット選定の機会と捉え、これらを反映させた新たなツアーを企画し、インバウンド客の取り込みを行う方針である。

このように、「生の声を聞き、反映させる」取組みを行うことで、比較的容易にマーケティングおよびターゲティングが可能となり、浜茶屋をはじめ、地域全体について新たなビジネスモデルへと昇華させることが可能となる。

以上